

高雄 榎尾 柵尾

～文化財と遺跡を歩く～ 京都歴史散策マップ



発行 京都市・(公財)京都市埋蔵文化財研究所

高雄 榎尾 柵尾周辺の発掘調査

高雄 榎尾 柵尾は京都の市街地から北西に位置する山地で、三尾とも称されています。標高は400～600mで、北西から東南方向の谷筋が形成されており、それぞれ菩提川、高鼻川など清滝川へと注ぐ支流となっています。この地に人々が住みはじめたのは、今から約3万年前にあたる旧石器時代までさかのぼります。石器を作り使用する人々が菖蒲谷池、沢ノ池の岸あたりで生活を始めます。梅ヶ畑の丘陵中腹では弥生時代中期(前1世紀前半)に祀りに使われた銅鐸4基が埋められました。古墳時代には南の嵯峨野丘陵に古墳が多数造られます。平安京が遷都されると、高雄山の中腹には、平安京を厄などから守るために官人わげのきよまる和氣清麻呂によって神護寺が建立されます。当時の寺域は神護寺に伝わる『神護寺伽藍図』(鎌倉時代作)からも広大であったことがわかります。周山街道に面して神護寺の鎮守社 平岡八幡宮が置かれます。また梅ヶ畑の丘陵頂上付近では発掘調査で奈良時代から平安時代前期にかけて、祭祀が行われていた梅ヶ畑祭祀遺跡が発見されました。沢ノ池畔や沢山には御堂とみられる平安時代中期の建物跡が発見されています。応仁・文明の乱(1467～77)など中世の戦乱期には、高雄城が神護寺境内を含む高雄山に築かれます。

⑤ 沢ノ池西遺跡

清滝川の支流・高鼻川東岸の斜面、標高約330mの平坦地に位置しています。平坦地には建物跡を示す礎石が残り、石材や土器も散在しており御堂跡の存在をうかがわせます。



平坦地に残る礎石群



礎石



散在する石材

① 菖蒲谷遺跡

菖蒲谷遺跡は、右京区梅ヶ畑にある菖蒲谷池畔で1955年に見つかった旧石器時代のチャート剥片が手掛りとなり知られるようになりました。これまでの採集品には平安時代の土器もありますが、大半は旧石器時代のナイフ形石器や縄文時代の石鏃などの石器類です。採集された石器の石材にはチャートやサヌカイトがあります。菖蒲谷を含む梅ヶ畑村は中世以降、禁裏に菖蒲谷特産の菖蒲を献上していました。また、『平家物語』巻12では菖蒲谷を平氏方の総大将を務めた平維盛(たいらのこれもり)一族の逃避地と伝えています。散在する平安時代の土器類はこれに関連しているのかもしれませんが、江戸時代初めごろには谷がせき止められ、溜め池として利用されるようになりました。現在はボートの遊覧やキャンプ地として活用されています。



現在の菖蒲谷池



採集された縄文時代の石鏃

② 高雄城跡(神護寺境内)

高雄城は高尾山山頂(標高428m)から神護寺境内に築造された戦国時代の雄大な山城です。頂上部に本丸を設け神護寺境内を取り込んでいました。山頂には神護寺を復興した文覚上人(もんがくしょうにん)と性仁法親王(しょうにんほんしんのう)の墓があります。墓域の周りには本丸とみられる平坦地があり、神護寺の建物周辺には石垣や土塁なども残っています。



神護寺境内に残る石垣



神護寺境内に残る土塁



山頂にある文覚上人と性仁法親王の墓

⑥ 沢ノ池南遺跡

標高約370mの沢山山頂付近にある沢ノ池の南斜面地に平坦面が点在しています。礎石が残る平坦面、大・小の石材や平安時代前期から中期にかけての土器や瓦類も見つかっています。また信仰の対象である磐座(いわくら)とみられる大岩も確認されており、平安時代以前から信仰の山であったことをうかがわせます。



平坦地に残る礎石と石材



磐座とみられる大岩



大岩

⑦ 梅ヶ畑祭祀遺跡

1997年4月、右京区梅ヶ畑向ノ地(むこうのち)町にある丘陵で発掘調査が行われました。ここは嵯峨野の背後にある丘陵端で、北側には京と丹波や日本海沿岸を繋ぐ周山街道(国道162)が東西に通っています。発掘調査では丘陵頂部の尾根筋に造られたテラス状の平坦地から焼土層や柱穴が見つかり、丘陵斜面にかけては奈良時代中期から平安時代前期の土師器、須恵器、二彩陶器、瓦、銭貨、仏を描いた線刻石製品など多量の遺物が発見されています。なかでも二彩陶器が多いこと、墨書で「秦」「□寺」の字が書かれた土器や細い線で仏が刻まれた石片が見つかったことが注目されました。これらの出土品や遺跡の立地などから、平安京遷都前後にこの丘陵で何らかの祭祀が行われたとみられ、「梅ヶ畑祭祀遺跡」と名付けられました。なおこの丘陵の東斜面からは京都市内唯一の梅ヶ畑銅鐸が見つかっています。



遺跡のあった丘陵(矢印部分)



丘陵頂上 手前に磐座とみられる巨岩

③ ④ 沢ノ池遺跡

沢ノ池遺跡は従来より旧石器時代の石器、平安時代の瓦や土器の散布地として知られていました。平安京の北西方向で、御室仁和寺からは北西約4kmに位置しています。沢山(標高約500m)の西側にあたり、池は標高370m付近にあります。池南半部の池岸で飛鳥時代および平安時代前期から中期にかけての土器や瓦類が散布し、西畔では池状の遺構や石段と御堂跡、通路や平坦地などが発見されています。また、東畔では三間四面の礎石建物跡が岸辺に残存していることが最近明らかになりました。これらの施設は貴族の別荘か仁和寺に関連する子院であるか、いずれにしても山中にある遺跡として注目されています。



現在の沢ノ池

③ 池の西畔



池状遺構

④ 池の東畔



池畔に残る建物の礎石



礎石



礎石



採集された土器片



如来座像が刻まれた石片



仏面の墨書土器



「秦」銘墨書土器



「□寺」銘墨書土器



二彩陶器片



高雄 榎尾 柵尾に関する発掘調査地の位置図

資料提供：公益財団法人 京都市埋蔵文化財研究所



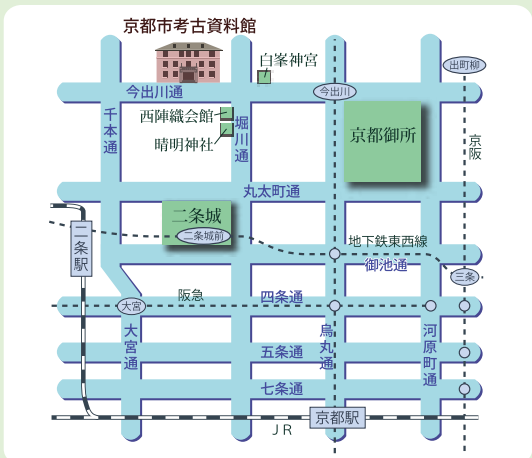
京都市考古資料館

大正3年に本野精吾の設計で建てられた旧西陣織物館を内部改修し、京都市内の発掘調査・研究の業績を発表・展示するため昭和54年11月に設立されました。特別展と常設展で構成され、約1000点の遺物が展示されています。遺物展示のほかにも、映像やパソコンで旧石器時代から近世にかけての京都の歴史を学ぶことができます。建物は、昭和59年に京都市有形文化財に登録されています。

〒602-8435
京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1
TEL.075-432-3245 FAX.075-431-3307
http://www.kyoto-arc.or.jp/museum/

入館無料・月曜休館(月曜が祝日の場合は翌日)
開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)

JR京都駅より地下鉄烏丸線「今出川駅」下車徒歩15分
市バス201・203・59系統「今出川大宮」下車すぐ



神護寺 じんごじ

和気清麻呂が河内国に建立した神願寺と当地にあった高雄山寺を合併し、「神護寺国許真言寺」と改称し勸願寺となりました。9世紀初頭に空海が入寺し、12世紀に火災により荒廃後、文覚(もんがく)上人が再興しました。国宝の本尊木造薬師如来立像が金堂に安置され、梵鐘(国宝)は日本三名鐘の一つです。また山中に清麻呂墓があり、山上には文覚上人の墓と後深草天皇第四皇子の性仁(しょうにん)親王墓もあります。



地藏院付近のかわらけ投げ

錦雲溪から厄除けの願をかけて、かわらけ(素焼皿)投げができます。投げ場からは、清滝川の深谷が一望できます。かわらけ投げは神護寺が発祥の地と言われています。

平岡八幡宮 ひらおかはちまんぐう

平岡八幡宮は9世紀前半に神護寺鎮護のため空海が豊前国(大分県)の宇佐八幡神を勧請したのが起源です。現在の切妻造本殿(市指定有形文化財)は19世紀前半の再建で、本殿天井には「花の天井」と呼ばれる四十四面の極彩色の花の絵が描かれています。10月の祭礼「三役相撲」は市無形民俗文化財に登録されています。

西明寺 さいみょうじ

9世紀前半に空海の弟子智泉(ちせん)が開創しました。平等心王院ともいいます。現在の伽藍は18世紀に徳川綱吉の生母桂昌院の奇進により再建されました。本尊釈迦如来像(重文)は清涼寺式釈迦像を模した高さ51cmの小像です。また、境内を含む周辺は槇尾の紅葉の名所にもなっています。

高山寺 こうざんじ

高山寺の創建は奈良時代と伝え、13世紀初頭に明恵(みょうえ)上人が再建した寺院です。槇尾山にあり、後鳥羽上皇から「日出先照高山之寺(ひいでてますらうざんのてら)の勅額を得たことで高山寺と称しました。多くの寺宝を持ち、「鳥獣人物戯画」(国宝)、「明恵上人樹上座禅像」(国宝)は特に有名です。また、明恵上人による日本最古の茶園は宇治茶の基礎をつくりました。境内は国指定の史跡になっています。

石水院 (国宝)



石水院は五所堂ともい入母屋造で、正面に庇を付け拜殿風に改めた鎌倉時代の様式を伝える建物です。13世紀前半に後鳥羽上皇の賀茂別院から移され、明恵上人の庵として使われており、後に移転を繰り返し現在地には19世紀後半に移されました。

金堂 開山堂

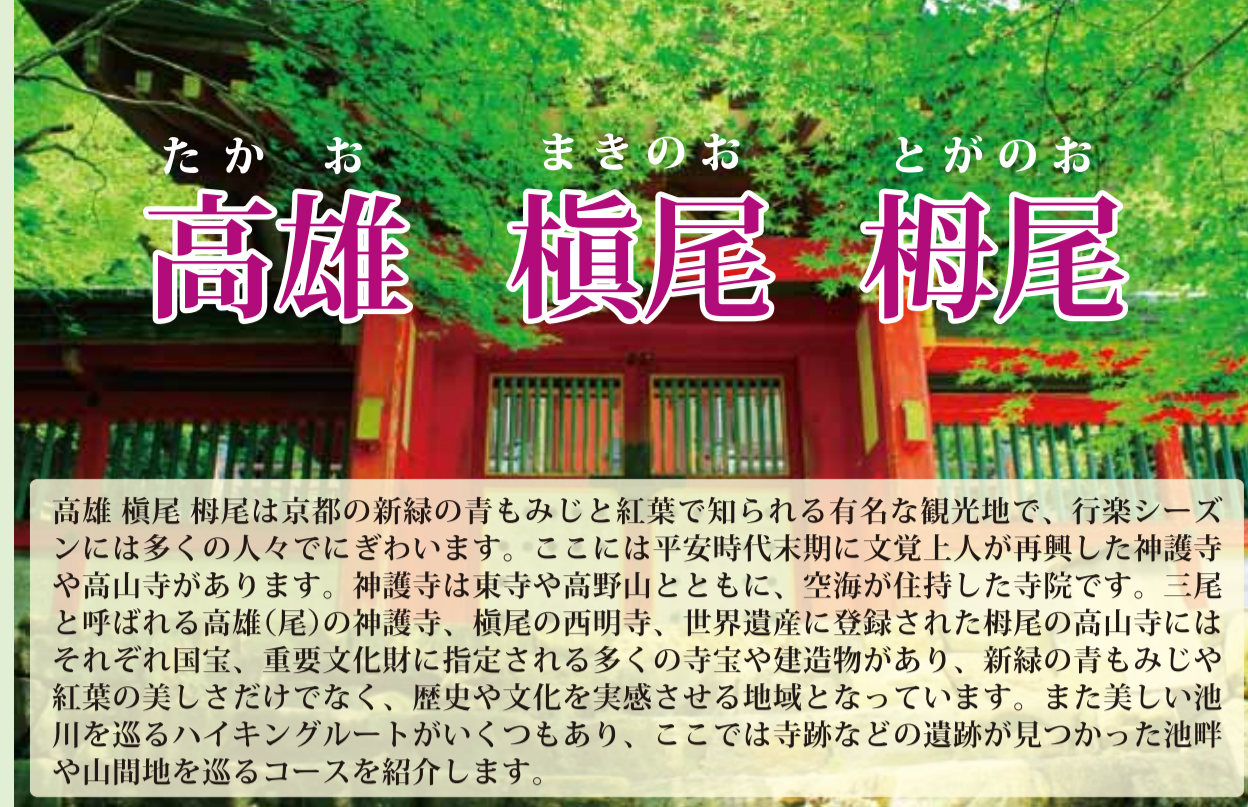


13世紀前半に完成した本堂は室町時代に焼失し、現在の金堂は17世紀前半に御室仁和寺真光院から移築した仏堂で、釈迦如来像を本尊としています。



大師堂

大師堂(重要文化財)は空海の住居であった「納涼庵」を復興したもので、現存するのは桃山時代の再建です。内部の厨子には14世紀初頭に製作された板彫弘法大師像(重要文化財)を安置しています。



たかお まぎのお とがのお

高雄 槇尾 梅尾

高雄 槇尾 梅尾は京都の新緑の青もみじと紅葉で知られる有名な観光地で、行楽シーズンには多くの人々にぎわいます。ここには平安時代末期に文覚上人が再興した神護寺や高山寺があります。神護寺は東寺や高野山とともに、空海が住持した寺院です。三尾と呼ばれる高雄(尾)の神護寺、槇尾の西明寺、世界遺産に登録された梅尾の高山寺にはそれぞれ国宝、重要文化財に指定される多くの寺宝や建造物があり、新緑の青もみじや紅葉の美しさだけでなく、歴史や文化を実感させる地域となっています。また美しい池川を巡るハイキングルートがいくつもあり、ここでは寺跡などの遺跡が見つかった池畔や山間地を巡るコースを紹介します。

菖蒲谷池・沢ノ池トレイル

峠から見る京都の眺望、北山杉・青もみじ・紅葉・深流・蒼碧の池などが美しい自然豊かなコースです。鳥のさえずりを聞いたり、林道の曲がり道や登り坂、下り坂を一步一步進むことで、都会とは一味違う光景と出会えます。菖蒲谷池と沢ノ池には寺跡などの遺跡が残っています。

大覚寺(スタート)	約1時間30分	約20分	約2時間40分	鷹峯(ゴール)
	直指庵	高嶺橋	福ヶ谷林道	
約20分	約40分	約30分	約20分	
京見峠	白雲橋	上ノ水峠	坂ノ東	
菖蒲谷池	指月橋	沢ノ池	千束	



3 菖蒲谷池 しょうぶだにけ

美しい蒼色が映える南北に長い人工のため池で、池の南には17世紀前半に開削された灌漑用の隧道(すいどう)が北嵯峨に通じています。縄文時代の石器や平安時代の土器が散布する「菖蒲谷遺跡」としても知られています。



8 沢ノ池 さわのいけ

菩提川をせき止めて造られた標高370m付近にあるエメラルドグリーン色の美しい溜池です。縄文時代の石器や平安時代の遺物が散布する「沢ノ池遺跡」として知られ、池の南岸には平安時代の寺跡の礎石などが今も残っています。



ちょっと寄り道 清滝川沿いを歩こう

高雄橋から清滝口に至る「東海自然歩道」を歩きます。清滝川沿いの道は深流が曲折する巨岩の多い景色があり、四季折々の変化を楽しむことができます。初夏にはゲンジボタル(天然記念物)が夜空を舞います。



「マップ目印」 おすすりルート 寄り道ルート バス停 トイレ 神社 寺院 警察 石碑